

脱炭素時代に選ばれるために 自動車産業におけるサーキュラーエコノミー ～プラスチックリサイクルを中心に～

脱炭素化の流れが世界的な広がりを見せるなか、欧州では新車の製造に使用されるプラスチックの25%をリサイクル材とする規則案が発表されています。一方、国内では製造業者に対して再生プラスチックの使用拡大に向けた計画策定や実績報告の義務付けが提言されるなど、「再生プラスチック使用の義務化」は今後避けられない状況となっています。そこで、本講演会では第一線で活躍される講師をお招きし、自動車業界におけるサーキュラーエコノミーの現状や関連技術に関する最新情報を提供させていただきます。

日時 2024年 **12月4日(水)**
13時30分～16時25分

会場 名古屋市工業研究所
第2会議室

名古屋市熱田区六番三丁目4番41号
名古屋市工業研究所 管理棟4階

開会挨拶 13:30～13:35 主催者挨拶

講演 1 13:35～14:35

「自動車向けSustainable-Plastics」
～ いそが取り組む car to car / x to car ～

いその株式会社
代表取締役社長

磯野 正幸 氏



当社は60年以上再生プラスチックを製造・販売してきました。サステナブルな素材として、注目を浴びています。2031年には、ELV規則として、欧州では、自動車プラスチックの25%の再生材の使用義務が決まり、日本のメーカーも対応に追われますが、多くの課題を残しています。その課題解決の方法を探っていきます。

講演 2 14:45～15:15 名古屋市工業研究所における取組の紹介

材料技術部 環境・有機材料研究室 主任研究員 **林 英樹**、主任研究員 **岡本和明**

講演 3 15:25～16:25

「トヨタにおけるサーキュラーエコノミーへの取り組み」

トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー
CE(サーキュラーエコノミー)推進室 室長

永井 隆之 氏



カーボンニュートラルと同じくらい大事な考え方であるサーキュラーエコノミーすなわち循環型社会への変革に向けたトヨタでの取り組み:①クルマや部品の循環②材料の循環への対応、などの方向性をご紹介します。

主催：名古屋市工業研究所

協賛：(一社)中部日本プラスチック製品工業協会、愛知県プラスチック成形工業組合、
中部プラスチック金型協同組合、(一社)プラスチック成形加工学会東海支部、(公社)自動車技術会中部支部

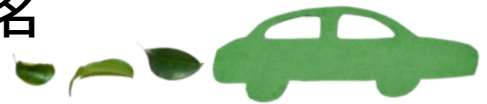
脱炭素時代に選ばれるために 自動車産業におけるサーキュラーエコノミー ～プラスチックリサイクルを中心に～

参加費

無料

定員

80名



申込期限

2024年11月27日(水)

申込方法

申込フォームまたは電子メールでお申込みください。

申込フォーム

右記二次元コードまたはURLよりお申込みください。

URL <https://forms.gle/ZsPqQbiBWAaFhthF9>



電子メール

①企業・組織名 ②住所 ③所属・役職 ④氏名 ⑤E-mail ⑥電話番号
⑦メールマガジン「NMIRI 技術ニュース」(月1回、工業研究所のイベント情報等を配信)の【配信を希望する/希望しない/登録済み】
を記入のうえ、下記の申込先までご送付ください。

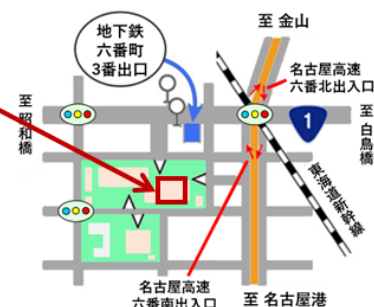
※参加証は発行いたしませんので、
こちらからお断りの連絡がない限り直接会場にお越しください。

お申込み
お問合せ

(公財)名古屋産業振興公社 産業連携推進部 産業連携推進課
E-mail:carbon@nipc.or.jp
TEL:052-890-3832

会場について

名古屋市工業研究所 管理棟4F第2会議室
名古屋市営地下鉄 名港線『六番町』下車、
3番出口より徒歩2分



アクセスマップ

※ご記入いただきました個人情報は本講演の運営および主催者が開催するイベントのご案内に必要な範囲で利用させていただきますが、主催者、事務局、講師以外の第三者への提供は行いません。